

学長選考無効求め提訴

新大 7教授 「説明責任果たさず」

新潟大の学長選考会議が、教職員による第二次意向投票の結果と異なる決定を行ったのは違法だとして、七人の教授が二十六日、大学を相手取り、決定の無効確認を求め訴訟を新潟地裁に起こした。新大の長谷川彰学長再任をめぐる混乱は、新任期が始まる二月一日を

前に、法廷での争いに発展した。国立大学法人の学長選考をめぐる訴訟は、滋賀医科大学に続き全国二例目。原告は大学院実務法学研究科長の山下威士教授のほか、中村哲也、根森健、関根征士、小林昭三、渡辺勇一、岡田正彦の六教授。

訴えによると、昨年十一月に行われた教職員による第二次投票で山本正治医学部長が一位、長谷川学長は二位となった。だが、選考会議は十二月に長谷川学長を次期学長候補者と決めた。

これに対し山下教授らは①学長選考規則の「第二次意向投票の結果を参

の悪しき先例ともなる。学長の良識に訴えた(再任撤回を求める)署名活動も功を奏さないため、公的な場で決着をつけた」と語った。

これについて、新潟大は「今回の学長選考については、国立大学法人法

ののっとり、適正に行われており、特に問題はな

京大生、集団強姦で

アメフット
元部員3人

女子学生3人

京都府警捜査一課と川端署は二十六日、女子大生二人を酒に酔わせ集団で乱暴したとして集団

強姦(ごうかん)容疑で、京都大アメリカンフットボール部「ギャングスターズ」の元部員で京大四年の男子学生三人を逮捕